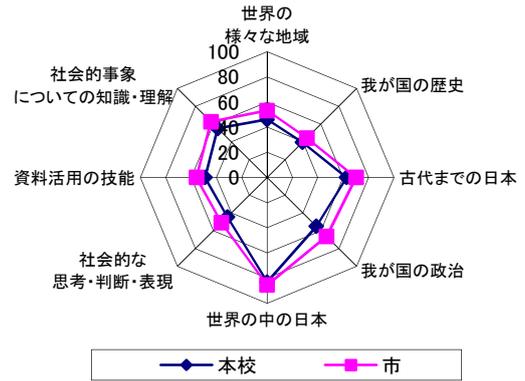


宇都宮市立国本中学校 第1学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	46.2	53.2
	我が国の歴史	39.5	44.3
	古代までの日本	62.6	70.2
	我が国の政治	54.9	66.3
	世界の中の日本	83.2	85.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	44.4	51.0
	資料活用 of 技能	49.0	55.8
	社会的な事象についての知識・理解	55.1	62.7



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	市の平均正答率より7ポイント下回っている。特に、世界の人々の伝統的な衣装の理解をもとに写真を読み取る問題や、世界各地の人々が住む家の起源について記述する問題の正答率が低い。	世界各地の人々の生活について、自然条件や社会的条件を関連させて考えさせたい。また、世界各地の環境については世界地図やグラフ、視聴覚資料などを用いて理解を深めさせたい。そうした学習を通して、世界の伝統的な衣装には、それぞれの地域の自然環境や文化の影響が見られることを理解させたい。
歴史	我が国の歴史	市の平均正答率より4.8ポイント下回っている。特に、資料から女性の参政権の保障について考える問題の正答率が低い。	小学校の6年で学習した内容について、復習させるような学習を導入したい。第二次世界大戦後の日本については、2学年の歴史分野の学習で理解を深めさせたい。資料から読み取れたことを自分の言葉で表現する学習（言語活動）に力を入れたい。大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ律令国家が確立していく動きを理解させたい。
	古代までの日本	市の平均正答率より7.6ポイント下回っている。特に、資料を読み取り5世紀頃の大和政権の様子について記述する問題や、奈良時代の税の資料から、農民に課せられていた税について考える問題の正答率が低い。	
公民	我が国の政治	市の平均正答率より11.4ポイント下回っている。特に、身近な事例について、日本国憲法の三大原則のどれと関係が深いのかを考える問題の正答率が低い。	小学校の6年で学習した内容について、復習させるような学習を導入したい。日本の国際化については、3学年の公民分野での学習で理解を深めさせたい。
	世界の中の日本	市の平均正答率より2.4ポイント下回っている。日本の国際化に関するグラフを読みとる問題の正答率が、市より3.6ポイント下回っている。	